

(様式第7号)

平成29年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市総合文化会館、舞鶴東コミュニティセンター		
指定管理者	公益財団法人舞鶴市文化事業団		
設置目的	市民の文化の向上と福祉の増進を図るため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
所管課	市民文化環境部地域づくり・文化スポーツ室文化振興課		

2 利用状況等の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	年度
利用者数(人)	97,776	101,077	91,937	92,038	
利用料金(円)	9,731,018	11,202,511	10,780,674	10,620,839	
指定管理料(円)	47,415,000	47,001,000	33,127,000	33,775,000	

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
総合文化会館・東コミュニティセンター利用者数	75,000人	75,000人	92,038人	123%
総合文化会館・大ホール稼働率(年)	38.0%	38.0%	37.0%	97%
東コミュニティセンター 小ホール稼働率	50.0%	50.0%	46.0%	92%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	10,620,839	人件費	57,023,946
指定管理料	33,775,000	維持管理費	17,178,479
事業収入	21,006,945	事業費	47,931,937
その他	65,448,552	その他	3,961,786
合計	130,851,336	合計	126,096,148
差額			4,755,188

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	利用者数は目標達成したが、稼働率については達成できていない。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	芸術鑑賞に限らず、多種多様なアウトリーチ事業を実施するなど、幅広い層への文化芸術発信に努めている。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	多種多様な事業は展開されているが、参加が極端に少ない事業も見受けられる。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	各事業は、計画通り実施されている。今後は、市内の文化関係団体との協働による事業も積極的に行われたい。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	△	これまで稼働率は1日1コマで計算し目標達成としていたが、貸館のコマ数に置き換える(1日を3コマに分割・利用のあったコマだけ実績とする)と、目標達成できていない。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	受付窓口や、電話応対等、迅速丁寧な対応に努めている。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	施設利用者、来館者へのアンケートを行い、利用者ニーズの把握に努め、サービス向上や事業運営に活用している。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	窓口で口頭で伝えられるような案件について、内容の記録や対応結果等が残せていなかった。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	△	事業実施に際して外部助成金等を活用するなどしている。昨年度、選定委員会で指摘のあった、雇用形態の見直しによる人件費の削減については、実施できていない。

委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	物品購入は、見積り合せや通信販売、一括購入により安価に購入するように努めている。
収入増加のための取組が行われたか	○	WEB オンラインチケット購入サービスの運用等により、チケットの販売促進に努めている。 今後は、利用料収入増加のため、施設稼働率を上げる取り組みも検討されたい。
<b>(4) 適正な管理運営</b>		
適切な人員配置が行われたか	△	正規職員のみでの構成のため、月の勤務日数が決められており、施設利用の予定が無い場合でも必要以上の人員が配置されるケースが発生する。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	職員ミーティングを実施し、施設貸与や事業開催における問題点を確認し、利用者サービスや今後の事業展開に結びつくよう努めている。
施設の平等な利用が行われたか	○	条例や規則の厳守に努めている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われている。
情報の公開が適切に行われたか	○	ホームページの更新や SNS を活用し、情報発信を充実している。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に行われている。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	必要な法定点検、保守点検は適切に行われている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	年2回、火災・地震を想定した防災訓練が実施されている。 外構のタイル割れを認識しながら、補修作業が行われていない。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われている。
<b>(5) その他コメント</b>		
サービス向上		WEB オンラインチケット購入サービスの導入により、利用しやすいサービスの提供が行われている点は評価できる。今後は、会場へ足を運ぶことが困難な人への移動手段の提供など、これまで利用が難しかった客層へのサービスの提供も検討されたい。 市民が多種多様な文化芸術を鑑賞できる機会を提供することに加え、市民による文化活動への支援策を充実し、市民が文化に係わり楽しめる環境を整えるなど、更なる文化芸術の振興及び文化情報の収集・発信に期待したい。 新たな施設の利用法を提案するなど、稼働率の向上策を検討されたい。
経費削減		事業実施に際して外部助成金等を活用している点は評価できる。 昨年度選定委員会で指摘のあった、雇用形態の見直しによる人件費の削減については実施できていないため、今後の運営体制も含め検討されたい。
施設の維持・管理		外構のタイル割れを認識しながら、補修作業が行われていない。軽微な修繕は施設管理の範疇で行うものであり、また、収支状況において毎年度一定額の差額が生じており費用面でも充分対応可能なものとする。 談話室での喫茶コーナー開設など、施設利用者へのサービス向上に努めている点は評価できる。 しかしながら、行政財産の使用許可を受けているのは文化事業団であるにもかかわらず、当該スペース内の設備管理については、喫茶コーナーへの出店者に任せきりの様子が伺える。管理者として、適切な維持管理に努められたい。 本市の文化振興基本計画に基づき、文化や芸術事業の主体としての役割を果たし、市全体の文化の状況把握に努め、更なる市民文化の振興に努められるよう期待したい。

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

## 6 選定委員会による評価

評価点	3.5点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	人件費が高いので、人件費の見直しが必要である。 雇用形態の見直し、退職金規程の見直しにも取り組まれない。 補助金等の収入に頼りすぎと考えられる。	

《参考》 過年度の評価点

平成26年度	平成27年度	平成28年度	年度	平均
3.4点	3.85点	4.33点		3.86点